

第110回理事会/第41回通常総会を開催

平成23年5月13日、社団法人電池工業会第110回理事会/第41回通常総会が機械振興会館で開催された。

定款にもとづき本間充会長（三洋電機株式会社代表取締役副社長）が議長となり、第1号議案から第6号議案までが審議され、提出された議案はすべて可決承認された。また、報告事項についても確認された。

1. 議案

(1) 第1号議案 平成22年度事業報告

各分会長及び各担当事務局から、配布資料に基づき平成22年度事業報告の説明がなされた。審議の結果第1号議案は事務局の原案どおり可決承認された。

(2) 第2号議案 平成22年度収支計算書

担当事務局から、配布資料に基づき平成22年度収支計算書の説明がされた。

収入の部については、予算額4億9,177万円に対し、決算額4億9,837万円となり660万円の増収となった。支出の部については、予算額3億9,111万円に対し、実績額3億7,223万円で、-1,888万円となった。内訳は、本会計は-1,842万円、特別会計は-46万円となり、この結果、当期収支差額は2,549万円のプラスで、前期繰越収支差額と合わせて次期繰越収支差額は1億2,614万円で、内訳は本会計分9,703万円、特別会計（蓄電池設備認定・講習事業、ボタン電池回収処理事業）2,911万円となる旨報告があった。

また、監事を代表して鎌田進監事より監査結果の報告がなされた。

以上の説明と提案に対し、審議の結果第2号議案は原案どおり可決承認された。



(3) 第3号議案 平成23年度事業計画

各分会長及び各担当事務局から、配布資料に基づき平成23年度事業計画の説明がなされた。審議の結果第3号議案は事務局の原案どおり可決承認された。

(4) 第4号議案 平成23年度収支予算

担当事務局から、配布資料に基づき平成23年度収支予算の説明があった。

収入の部については、当期収入合計を3億1,930万円、前期繰越収支差額を1億2,614万円 合計4億4,544万円を見込んだ。

支出の部については、事業費1億0,451万円、内特別会計（蓄電池設備認定・講習事業）7,059万円、特別会計（ボタン電池回収処理事業費）3,393万円。部会活動費1億0,997万円、一般管理費の1億4,815万円を合わせて当期支出合計を3億6,263万円とした。これにより当期収支差額と前期繰越収支差額を合わせて、次期繰越収支差額は8,281万円を見込んだ旨の説明がなされた。

以上の説明に対し、審議の結果第4号議案は原案どおり可決承認された。



(5) 第5号議案 理事・監事の選任の件

中谷専務理事から配布資料に基づき、平成23年5月25日から平成25年5月24日までの任期となる理事および監事の提案がなされた。審議の結果、第5号議案は原案どおり以下の様に可決承認された。

理事・監事（任期：平成23年5月25日～平成25年5月24日）

（敬称略）

| 役員区分 | 氏名 | 社名・役職 |
|------|-------|---|
| 理事 | 本間 充 | 三洋電機株式会社 代表取締役副社長 |
| 理事 | 内海 勝彦 | 古河電池株式会社 代表取締役社長 |
| 理事 | 角田 義人 | 株式会社日立製作所 執行役専務 電池システム社 社長 |
| 理事 | 伊藤 正人 | パナソニック株式会社 役員 エナジー社 社長 |
| 理事 | 中谷 謙助 | 社団法人電池工業会 |
| 理事 | 藤原 雅司 | 東芝電池株式会社 代表取締役社長 |
| 理事 | 佐藤 護 | NECエナジーデバイス株式会社 代表取締役社長 |
| 理事 | 和田 敏雅 | FDK株式会社 代表取締役副社長 |
| 理事 | 依田 誠 | 株式会社GSユアサ 代表取締役社長 |
| 理事 | 小森 良孝 | シック・ジャパン株式会社 エナジャイザーカンパニー バッテリー事業部 事業部長 |
| 理事 | 伊藤 繁 | 新神戸電機株式会社 代表執行役社長 |
| 理事 | 加藤 祐一 | セイコーインスツル株式会社 マイクロエナジー事業部 事業部長 |
| 理事 | 種茂 慎一 | ソニー株式会社 ソニーエナジー・デバイス株式会社 代表取締役社長 |
| 理事 | 河津 象司 | 株式会社東芝 SCiB事業推進統括部 統括部長 |
| 理事 | 鈴木 愛司 | 株式会社三菱電機ライフネットワーク 代表取締役社長 |
| 理事 | 板垣 富榮 | 一般社団法人JBRC 専務理事 |
| 監事 | 小澤 和典 | エナックス株式会社 代表取締役 |
| 監事 | 鎌田 進 | 株式会社プロジェクト21 代表取締役社長 税理士 |

(6) 第6号議案 会員の入会の件

中谷専務理事から配布資料に基づき賛助会員の入会申請について説明した。審議の結果、下記の賛助会員が平成23年6月1日より入会することが可決承認された。

(賛助会員の入会)

（敬称略）

| 会員名 | 事業内容 |
|------------|---|
| 株式会社ケンコー | ・写真用品、光学製品、セキュリティ用品、X線撮影装置の開発・販売 |
| 東洋合成工業株式会社 | ・有機工業薬品・有機溶剤等の製造・販売 ・画像形成用の感光性材料等の製造・販売 ・電池材料並びに電気二重層材料等の研究開発、製造並びに販売 |
| タカノ株式会社 | ・事務用椅子、その他椅子等のオフィス家具、ばね、エクステリア製品、エレクトロニクス関連製品、健康福祉機器の製造ならびに販売 |

2. 報告事項

和仁事務局長から、配布資料に基づき報告事項の説明があった。

(1) 会員の退会

定款第8条の定めに基づき、下記の届出があった旨報告した。

| (正会員) | 会 員 名 | 変更年月日 |
|-------|------------|-----------|
| | 日立マクセル株式会社 | H23. 3.31 |

これにより、平成23年6月1日現在の会員数は右記の通りである。

| | |
|-------|-----|
| 正 会 員 | 17社 |
| 賛助会員 | 68社 |
| 合 計 | 85社 |

(2) 平成22年度の事務局職員の異動

転入者3名と転出者2名の氏名の紹介を行った。以上、事務局の報告に対し議長より議場に諮ったところ、報告事項は確認された。

以上

会長に本間充氏を再選

平成23年5月25日の臨時理事会において、会長に本間充氏、副会長に内海勝彦氏、角田義人氏、伊藤正人氏、専務理事に中谷謙助氏、常務理事に藤原雅司氏、が互選された。任期は平成23年5月25日から平成25年5月24日まで。



会長 本間 充



副会長 内海 勝彦



副会長 角田 義人



副会長 伊藤 正人



専務理事 中谷 謙助



常務理事 藤原 雅司

日本乾電池工業統制組合の最後の総会は、昭和21年（1946年）5月28日、29日に行われた昭和21年度通常総会になります。この通常総会では、議案説明などを事務局にゆだねるのではなく各役員が分担してこれに当たり、組合の民主化運営に努力するものでした。組合としてはできるだけ戦時色の濃い組合組織から脱皮しようと努力が払われました。しかし、組合の性質上、戦後の“閉鎖機関指定”にされる情勢が、日一日と濃厚になっている時期でもありました。日本乾電池工業統制組合は、この後の昭和23年4月13日に“閉鎖機関指定”を受けることになります。

そこで、日本乾電池工業統制組合とは別個の組織として新団体結成の準備が進められることになります。閉鎖機関指定の問題に絡んで、産業団体はどの団体も不安動揺の中にありました。しかし臨時物資需要調整法に基づく資材の受配団体は、いかなる形においてもこれを存続しなければ、乾電池業界の生産に支障をきたす死活問題でした。そこで乾電池業界においても暫定処置として任意団体を結成することになりました。岡田悌蔵、松尾清雄、神田政吉、村上菊一、中村勝見、松方哲雄、佐藤耕治、谷川富士、北岡善三、等が発起人となって設立準備を進めていきました。そして、昭和21年10月24日に上野精養軒で、新団体「日本乾電池工業組合」の創立総会を開催しました。岡田悌蔵が理事長に、宮崎謙道が専務理事に、松尾清雄、松方哲雄、神田政吉、武久逸郎、中村勝見、谷川富士が理事に就任しました。

この時期は、閉鎖機関指定の問題、独禁法、

臨時物資需給調整法、等々が絡んで日本乾電池工業組合の前途は全く予想ができない前途混迷の状態でした。組合のあり方については、臨時物資需給調整法の運用の変更により指定生産資材の割り当て事務を民間団体に任ずることができなくなり政府自ら需要者別割り当てを行うことになったこと、独占禁止法によって資材の割り当てを行う団体を組織化することが禁止されたこと、価格の維持、引き上げ、生産品目の制限を組合が行うことが法に抵触すること、など産業団体および業者間でかなりの動揺を起している時期でした。また、この問題について政府からも具体的な指示もなく、法令の運用が明らかでない状態で軽々しく意見発表をした場合に後日混乱を招くおそれがあるなどで、全く動けない状態でした。

こうした事情の中で実施した窮余の一策が“物資調整官”というものでした。名目は官職でしたが実際は各産業団体の資材担当者の官庁出向であり、物資調整官は所属団体の決定に従って動いていたのが実情でした。乾電池および携帯電灯業界関係からも物資調整官が送り込まれました。

第2回目の通常総会は昭和22年（1947年）5月16日に開催されました。理事長に岡田悌蔵が、専務理事に宮崎謙道が再選されました。この通常総会では、臨時物資需給調整法や私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律の基本方針に沿って公正な自由競争を助長すると共に不公正な手段による企業の私的独占化を排除する、ことなどが決められています。

平成23年 5月度の電池工業会活動概要

| 部会 | 月度開催日 | 委員会・会議 | 主な審議、決定事項 |
|-----------|------------------|--------------------|--|
| 特別会議 他 | 13日(金) | 第110回理事会、第41回定期総会 | H22年度の活動および収支計算書の承認。H23年度の活動計画および収支予算の承認。理事・監事の改選。賛助会員3社の入会承認。 |
| | 18日(水) | T26回JEA蓄電池設備認定委員会 | 蓄電池設備資格審査案件2件を審査し承認。蓄電池設備の型式認定案件16件を審査し承認、等。 |
| | 19日(木) | 広報ワーキンググループ | でんちフェスタ実施内容の検討。 |
| | 20日(金) | 広報ワーキンググループ | 名古屋でんちフェスタ実施内容の検討。 |
| | 20日(金) | 広報総合委員会 | でんちフェスタ実施内容審議、啓発小冊子内容審議、ポスター内容審議、電池教室担当振り分け、等。 |
| | 25日(水) | ポタン電池回収推進委員会 | 平成22年度の事業結果報告、等。 |
| | 25日(水) | 臨時理事会 | 会長、副会長、専務理事および常務理事の改選。 |
| 二次電池部会 | 11日(水) | 特リ委員会 | BAJ自主取組自動車用電池のリサイクルスキーム審議。 |
| | 12日(木) | 資材委員会 | 再生鉛の審議、他。 |
| | 13日(金) | 自動車鉛分科会 | EU電池指令対応、SBA改正審議、等。 |
| | 17日(火) | 自動車電池委員会 | 自動車電池に関する正しい取扱他の審議。 |
| | 20日(金) | 特リ委員会 | 電池工業会自主取組説明会。 |
| | 20日(金) | 用語分科会 | SBA改正審議、等。 |
| | 20日(金) | 産業用電池技術サービス分科会 | H23年度活動計画審議、産業用電池リーフレット・再講習テキスト見直し審議。 |
| | 20日(金) | 充電器分科会 | 「浮動充電用整流装置の設計集」作成審議、他。 |
| | 26日(木) | 二次技術 | IEC・TC21国際会議報告会審議、等。 |
| | 27日(金) | PL委員会 | 平成23年度安全啓発活動実施計画審議、等。 |
| | 30日(月) | 産業電池委員会 | 産業用電池用途、等。 |
| | 30日(月) | 産業用電池リサイクル委員会 | 産業用電池リサイクルスキームの検討。 |
| | 31日(火) | 自動車技さ分科会 | BAJHP改正審議、等。 |
| 小形二次電池部会 | 17日(火) | リチウム二次分科会 | IEC・SC21A国際会議報告会審議、等。 |
| | 17日(火) | JIS C 8711 原案作成分科会 | JISC8711改正内容検討、等。 |
| | 18日(水) | ニカド・ニッケル水素分科会 | IEC・SC21A国際会議報告会他審議。 |
| | 18日(水) | JIS C 8708 原案作成分科会 | JISC8708改正内容検討、等。 |
| | 19日(木) | 国際電池輸送委員会 | 手引書改訂、IEC規格(35/1291/CD)の審議、等。 |
| | 20日(金) | 小形二次電池技術委員会 | IEC関連審議、ガイドラインに関する審議、並びに関連委員会の報告。 |
| | 23日(月) | 国際電池規格委員会 | IEC62133・62620等SC21A規格、ANSI規格、UL規格検討。 |
| | 23日(月) | 新種電池研究会 | 新規な非水系電池の探索。 |
| | 24日(火) | 次世代蓄電池委員会 | 蓄電システム導入に関して。 |
| | 27日(金) | 据置LIB分科会 | 産業用リチウムイオン電池の国際標準。 |
| | 27日(金) | 業務委員会 | 4月の販売実績及び動態確認。 |
| | 27日(金) | PL委員会 | 平成23年度安全啓発活動実施計画審議、等。 |
| | 30日(月) | LIB安全性技術員会 | 強制内部短絡試験の懸案事項確認。 |
| 31日(火) | LIB安全規格ワーキンググループ | LIB安全規格案の審議。 | |
| 一次電池部会 | 12日(木) | リチウム小委員会 | 米国輸送規制への対応検討、等。 |
| | 13日(金) | 規格小委員会 | JIS C 8500、JIS C 8515、IEC60086シリーズ改正審議。 |

アイドリングストップ車用鉛蓄電池

株式会社 GSユアサ

株式会社GSユアサ(社長:依田 誠、本社:京都市南区)が開発したアイドリングストップ車用鉛蓄電池が、トヨタ自動車株式会社(社長:豊田 章男、本社:愛知県豊田市)のアイドリングストップ機能「SMART STOP」を有する「ヴィッツ」(1.3F SMART STOPパッケージ)に採用されました。

2012年から2015年にかけて強化される欧州のCO₂排出量規制や、2015年に施行される国内の新燃費基準を受け、新車メーカー各社では燃費向上車の開発を進めています。アイドリングストップ車は、燃費の向上ならびにCO₂排出量の削減に有効な車両として注目されています。

今回搭載された鉛蓄電池「S-85」は、従来の始動用鉛蓄電池と比較して、より優れた「高出力」、「高入力(充電受け入れ性)」、および「高耐久性」の3つの性能を備えています。これらの性能は、当社がこれまで培ってきた薄型極板製造技術※1、カーボン技術※2、および長寿命化技術※3をバランス良く組み合わせることによって実現しました。

アイドリングストップ車ではエンジンが信号待ちや交通渋滞などで停車した場合に停止するため、鉛蓄電池から電装負荷(カーナビ、オーディオ、エアコンなど)へ電力が供給されます。また、発進動作を検知してエンジンを再始動させるための大電流の提供や、ブレーキ制動時の回生電力を充電する役割を果たしています。頻繁な充放電や高入出力への対応が可能な電池として今回「S-85」タイプが搭載されました。本電池は「ヴィッツ」の燃費改善に大きく貢献し、ハイブリッド車を除きクラストップとなる燃費性能(26.5km/L)を実現しました。



当社はすでに、アイドリングストップ車用鉛蓄電池を生産販売しており、今回開発した「S-85」タイプは新しいタイプをラインナップしたものです。今後さらに、アイドリングストップ車用鉛蓄電池のラインナップを拡充するとともに、海外生産拠点へも積極的な展開を図り、世界的なアイドリングストップ車普及への対応を通じて環境負荷低減に貢献してまいります。

- ※1 極板を薄くして多くの枚数で構成し、内部抵抗を低減することで入出力性能を向上させる技術
- ※2 負極板のカーボン添加量を最適化することで充電受け入れ性能を向上させる技術
- ※3 正極板に耐久性の高い格子と密度の高い活物質を使用することで長寿命化を達成させる技術

■ 「S-85」とは

社団法人 電池工業会規格SBA S 0101:2006に規定されているアイドリングストップ車用鉛蓄電池の形式。外形寸法および端子形状はJIS形式D26Lと同一。

「S-85」形鉛蓄電池の仕様

| | | |
|------------|-----|-------|
| 外形寸法(mm) | 総高さ | 225 |
| | 箱高さ | 202 |
| | 幅 | 173 |
| | 長さ | 260 |
| 質量(kg) | | 約19.5 |
| 公称電圧(V) | | 12 |
| 5時間率容量(Ah) | | 55 |

3月度電池販売実績（経済産業省機械統計）

（2011年3月）

単位：数量－千個、金額－百万円（小数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

（2009年1月より経済産業省の機械統計が「その他の鉛蓄電池」に「二輪用」が含まれました）

（2009年12月より経済産業省の機械統計が「その他のアルカリ蓄電池」に「完全密閉式」が含まれました）

（2011年1月より経済産業省の機械統計は「マンガン乾電池」を「その他の乾電池」に統合されました）

（2011年1月より経済産業省の機械統計が「その他の鉛蓄電池」に「小形制御弁式」が含まれました）

| | 単 月 | | | | 1月～当月累計 | | | |
|-------------|---------|--------|-----------|-----------|-----------|---------|-----------|-----------|
| | 数量 | 金額 | 数量 前年比 | 金額 前年比 | 数量 | 金額 | 数量 前年比 | 金額 前年比 |
| 全電池合計 | 482,271 | 56,056 | 97% | 82% | 1,268,987 | 161,933 | 97% | 90% |
| 一次電池計 | 327,244 | 10,628 | 103% | 101% | 828,464 | 25,021 | 99% | 92% |
| アルカリ乾電池計 | 150,271 | 6,081 | 135% | 119% | 314,419 | 12,167 | 117% | 101% |
| 単 三 | 87,303 | 3,137 | 135% | 124% | 178,631 | 6,045 | 116% | 101% |
| 単 四 | 41,966 | 1,429 | 157% | 127% | 83,909 | 2,659 | 129% | 100% |
| その他 | 21,002 | 1,515 | 105% | 104% | 51,879 | 3,463 | 105% | 100% |
| 酸化銀電池 | 68,013 | 910 | 83% | 92% | 204,848 | 2,639 | 98% | 104% |
| リチウム電池 | 90,708 | 3,191 | 84% | 80% | 265,206 | 9,159 | 85% | 82% |
| その他の乾電池 | 18,252 | 446 | 109% | 100% | 43,991 | 1,056 | 89% | 85% |
| 二次電池計 | 155,027 | 45,428 | 86% | 79% | 440,523 | 136,912 | 93% | 89% |
| 鉛電池計 | 2,323 | 13,123 | 81% | 97% | 7,641 | 40,898 | 94% | 110% |
| 自動車用 | 1,606 | 6,621 | 77% | 92% | 5,569 | 23,148 | 95% | 111% |
| その他の鉛蓄電池 | 717 | 6,502 | 91% | 103% | 2,072 | 17,750 | 93% | 108% |
| アルカリ蓄電池計 | 48,119 | 9,881 | 81% | 59% | 136,140 | 31,831 | 82% | 67% |
| ニッケル水素 | 34,012 | 7,816 | 82% | 54% | 96,522 | 25,704 | 82% | 64% |
| その他のアルカリ蓄電池 | 14,107 | 2,065 | 79% | 83% | 39,618 | 6,127 | 80% | 86% |
| リチウムイオン蓄電池 | 104,585 | 22,424 | 88% | 83% | 296,742 | 64,183 | 100% | 93% |

3月度電池輸出入実績（財務省貿易統計）

（2011年3月）

単位：数量－千個、金額－百万円（小数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

| | 単 月 | | | | 1月～当月累計 | | | |
|------------|---------|--------|-----------|-----------|---------|--------|-----------|-----------|
| | 数量 | 金額 | 数量 前年比 | 金額 前年比 | 数量 | 金額 | 数量 前年比 | 金額 前年比 |
| 全電池合計（輸 出） | 224,231 | 26,460 | 85% | 87% | 638,727 | 72,729 | 90% | 90% |
| 一次電池計 | 98,074 | 2,045 | 85% | 84% | 293,420 | 5,717 | 93% | 89% |
| マンガン | 882 | 23 | 94% | 98% | 2,678 | 70 | 149% | 175% |
| アルカリ | 18,559 | 288 | 112% | 98% | 52,432 | 776 | 108% | 89% |
| 酸化銀 | 36,811 | 430 | 72% | 82% | 113,615 | 1,285 | 85% | 95% |
| リチウム | 40,383 | 1,219 | 89% | 81% | 119,912 | 3,344 | 95% | 84% |
| 空気亜鉛 | 1,394 | 15 | 108% | 77% | 4,679 | 49 | 119% | 80% |
| その他の一次 | 45 | 69 | 13% | 79% | 104 | 193 | 12% | 137% |
| 二次電池計 | 126,157 | 24,414 | 85% | 87% | 345,307 | 67,012 | 87% | 90% |
| 鉛蓄電池 | 122 | 697 | 98% | 129% | 385 | 1,922 | 89% | 118% |
| ニカド | 10,700 | 1,082 | 75% | 81% | 30,567 | 2,890 | 77% | 77% |
| ニッケル鉄 | 0 | 0 | — | — | 0 | 0 | 0% | 0% |
| ニッケル水素 | 16,221 | 4,271 | 98% | 115% | 39,683 | 11,073 | 92% | 99% |
| リチウムイオン | 93,343 | 16,187 | 87% | 78% | 259,902 | 45,933 | 92% | 85% |
| その他の二次 | 5,772 | 2,178 | 60% | 126% | 14,770 | 5,194 | 48% | 128% |
| 全電池合計（輸 入） | 144,674 | 8,915 | 170% | 98% | 318,919 | 23,404 | 122% | 101% |
| 一次電池計 | 135,709 | 1,677 | 175% | 171% | 296,200 | 3,714 | 123% | 121% |
| マンガン | 33,930 | 364 | 151% | 142% | 76,902 | 735 | 110% | 108% |
| アルカリ | 87,025 | 961 | 199% | 210% | 183,396 | 1,965 | 137% | 148% |
| 酸化銀 | 234 | 6 | 42% | 10% | 909 | 19 | 58% | 24% |
| リチウム | 7,773 | 246 | 97% | 158% | 22,628 | 642 | 84% | 84% |
| 空気亜鉛 | 4,722 | 72 | 263% | 245% | 9,076 | 141 | 153% | 135% |
| その他の一次 | 2,026 | 29 | 217% | 112% | 3,290 | 212 | 94% | 180% |
| 二次電池計 | 8,965 | 7,238 | 118% | 89% | 22,719 | 19,690 | 118% | 98% |
| 鉛蓄電池 | 769 | 2,688 | 121% | 122% | 2,088 | 7,149 | 105% | 110% |
| ニカド | 847 | 198 | 156% | 102% | 1,625 | 552 | 89% | 80% |
| ニッケル鉄 | 3 | 1 | 900% | 109% | 6 | 2 | 64% | 43% |
| その他の二次 | 7,346 | 4,352 | 114% | 76% | 18,999 | 11,987 | 123% | 93% |